

表 4-2. 学校現場における DV 支援の困難性 (ワークによるグループ発表から)

《日常業務で困難である、難しいと思っていること》B グループ

困難点

子ども理解

DV 家庭の子どもの複雑な気持ちを理解しながら、うまく対応していくこと

親への介入

学校と家庭の介入はとても微妙だと思うが、学校はどこまで家庭に働きかけているのか

支援者のゆとり

援助過程における  
養教自身のふり返り。余裕。

生徒から家庭の DV を聞いたとしても、その両親に話をするのはなかなか難しい。

養護教諭も家庭訪問に行き、ゆっくり話  
がしたいが、なかなかできない。

養教は子どもの援助者であると思うが、DV 問題では親への介入も必要と考える。

夫婦間 DV を疑う話を子どもから聞いたとしても…  
どうしたらよいか…子どもとの関わり  
の問題でかかわるしかないし

男性教員の意識

校内研修をしても、  
特に男性教員の理解が得られない(効果が  
無い) 時がある。

近頃の対人関係

人との距離をうまくとれない大人が増えてきているので「近い」人間には、何をしても許される、許されるべきと思っている人が増えているかも

母親の問題意識

がまんでくる範囲が人によって違う点がある  
ので DV 判定が難しい。

DV を受けている母親自身にその自覚がなければ、  
問題意識がうすい  
援助しにくい

表 5-1. 学校現場における DV 支援のニーズ (ワークによるグループ発表から)

《もっと知りたいこと、学びたいこと》A グループ

DV が起こる病理？ メカニズム？ 解決するには…	DV の傾向と事例	当事者の気づき
DV が起こるきっかけは何か？	DV に関する具体的な事例	DV : 権力と支配に当事者が早く気付くには
DV の巧妙な手口 加害者はどんな風に、どんな所から身につけていくのか (育った環境が大なのか？)	DV の内容傾向 (身体的なものが多いのか、心理的なものが多いのか等) を知りたい	DV の権力と支配から抜け出す方法
DV の加害者 (被害者) になってしまう原因はあるのか？	学校への介入・支援 介入し、緊急時に施設に入所する場合の動き (学校から通報後)	予防について (自身が) DV を受けないために指導していくことがあれば…
DV が起こりやすい個人特性のようなものがあるか？	保護の方法と流れ	(自身が) DV を受けないために指導していくことがあれば…
虐待の経験がある人は、将来 DV をする確立が高いかどうか？	AM「講義 2」の中で 学校が介入・支援していく際の家庭へのアプローチ法	DV を予防するための方法 集団指導方法など
家族と DV 坂部先生が言われた家族力動が DV とどう関連しているか知りたい	DV が分かった時の対応・介入方法	DV に関する相談先がのった啓発カード 男性用身障者トイレにも置いてあるんでしょうか
	加害者への対応 DV 加害者への対応はどんなことができるか DV の加害者は DV をやめることができるのか？	

表 5-2. 学校現場における DV 支援のニーズ (ワークによるグループ発表から)

《もっと知りたいこと、学びたいこと》B グループ

支援・理解のポイント

理

暴力の連鎖

DV の家庭に育つと子どもも成人して DV をしてしまうと聞くが、その割合と、そしてそれを防ぐための手段を知りたい

DV の夫婦は、その両親も DV というケースが多いのか？  
繰り返されるのか…？

殴られて育った子どもは、自分が大人になった時、近しい大人を殴る (DV 発生) って本当か…？

援助者のセルフケア

養護教諭自身のセルフケアについて。  
燃えつきないために。

子どもへの関わりにおいて、回復の段階ではいけない or 言うてはいけない事柄。

親への各々 (父・母) のかかわりのポイントと限界点の見きわめ方。

DV 家庭で育った子どもの出すサインについて  
統計はないのかな

校内研修を行うための利用機関等。

パートナー間の力関係

夫婦間の相互作用というのは、DV の深刻化に影響するのかな…

若い人の中にも確かに恋人間 DV があるが、女性は弱いということなのか？  
最近はお女子の方が強いが…

加害者心

DV をしてしまったあとの本人の気持ちはどうなのか

DV ・男性側の心理

治療

DV は治せるのかな

家族療法とはどんなものか知りたい。

DV は、社会の男女の価値観を変えれば減るのか？